

見直しの取組例

これまでに行われてきた見直しの取組については、児童生徒の主体性を培う機会として、保護者の経済的負担を鑑みたり、移行期間を設けていたりする例もあり、各学校の実態に応じた工夫をしています。

① 通学カバンについて

例) 生徒会を中心に通学カバンについて検討し、生徒が主体的に意見を述べて見直しをしました。その中で、

→ 「学校指定バッグだけ」、「サブバッグだけ」、「学校指定バッグとサブバッグの両方」を選択できるようにしています。特定の行事のとき以外は、サブバッグを通学カバンとして使用している生徒が多いです。

② 通学用ヘルメットについて

例) 新しく自転車通学を認めた学校において、初めから学校指定をせず、従来型（丸型タイプ）とニュータイプ型（エアスルータイプ）のヘルメットを写真入りで紹介しています。

例) 従来、自転車通学を認めている学校において、学校指定のヘルメットをニュータイプ型へ変更しましたが、保護者の経済的負担も鑑み、従来型も選択できたり、継続して使用できたりするよう、移行期間を設定しました。

③ 体操服について

例) P T Aの会で、特別委員会として「服装委員会」を設置し、LGBT の理解を深める資料を配布するなど人権について啓発をしながら、男女同一デザインへの数年後の変更をめざして検討を開始しました。